

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年 2月 12日

【評価実施概要】

事業所番号	2771900913		
法人名	社会福祉法人 慶生会		
事業所名	北条グループホーム		
所在地	大阪府大東市北条7丁目4番1号 (電話) 072-878-8228		
評価機関名	特定非営利活動法人カリア		
所在地	大阪市天王寺区堀越町1-1四天王寺堀越ビル		
訪問調査日	2009.2.12	評価確定日	

【情報提供票より】(平成21年 1月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年4月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	20 人	常勤 12人, 非常勤 8人, 常勤換算	15.4人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	5 階建ての	2 階・3階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	無し		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無し(円)	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,250 円		

(4) 利用者の概要()

利用者人数	18 名	男性 3 名	女性 15 名
要介護1	1	要介護2	7
要介護3	4	要介護4	3
要介護5	3	要支援2	0
年齢	平均 86.9 歳	最低 74 歳	最高 97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	(医) 藤井会大東中央病院・(医) 快生会小山ふれあいクリニック・中川歯科
---------	---------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

商店街や野崎観音があり、散歩や買い物、地域行事の参加などにより、地域に溶け込んだホームだと感じ取れました。スタッフも、笑顔で入居者の方と接しておられアットホームな雰囲気がありました。運営方針や、職員のホームに対する思いを掲示するなど、一目でホーム全体の取り組みや雰囲気が分かる様配慮されており、風通しの良いホームと感じました。また、同一法人には特別養護老人ホームや、ケアプランセンター、有料老人ホーム、リハビリテーション施設など、総合的な運営や充実したサービスの提供をされており、ホーム自体も様々なノウハウを活かした取り組みをされていました。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価では、特に改善点はありませんでした。サービス向上に向け、管理者だけでなく、職員全員で取り組んでいました。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は職員全員で話し合い、改善点について検討されています。評価の意義を十分理解していました。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	ご家族全員に開催案内を出され、ホームの様子をホームビデオで紹介。また、外部評価の報告やその他、運営報告等が行われています。また、市の担当者とも日頃から積極的に関わりを持たれ、運営に活かそうと努力していました。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	苦情は、人間関係が築かれており少ないとの事です。意見箱が設置されていますが、面会時にご家族と積極的に関わる事で会話を通じて意見や要望等を直接聞く事が多いとの事でした。また、意見があった時は、内容と対応について職員に周知していました。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	散歩や買い物など外出の機会が多く、近隣の方とも馴染みの関係がありました。また、自治会行事にも積極的に参加。ホームも自治会員となり、会合や夜警に職員が参加する等、地域の中で安心して生活が送れるよう配慮していました。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「和敬・愛悟・感謝」の経営母体の理念の他。各フロアー独自の理念や目標を掲げ、品質向上に努めています。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	各フロアーの玄関・スタッフの控え室の見えやすい場所に掲示されていました。研修機会がある毎に周知し意識づけがされていました。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の盆踊りや野崎参り等の地域行事に積極的に参加しています。また、幼稚園や小学校との交流もあり、地域に関わりを持っています。また、ホーム自体も自治会に入っており、集会に参加したり、年末の夜警に参加したりと、地域にとけ込もうと努力していました。	○	行事や自治会の集会への積極的な参加をされていましたが、参加記録が少なく感じました。取り組み状況の証明が必要な時に証明出来ない事にもつながります。地域行事や集会等の記録の整備に期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を職員全員で話し合い、改善点について検討しており、評価の意義を十分理解していました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>ご家族の参加が主となっていますが、全利用者ご家族に案内を出して会議の呼びかけを行っています。ホームの日常の様子をビデオで観て頂いたり、外部評価等の運営に関する報告をされたりし、意見を聞いていました。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>認知症サポーター養成について市に働きかけたり、制度について不明な点などがあれば、積極的に相談するなど、市担当者と十分な話し合いをしていました。</p>		
4. 理念を实践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>3か月に1度、利用者毎に、写真や出来事などで構成された便りを作成していました。各々のご家族が知りたい事を中心に、健康状態やホームでの様子がよく分かるように工夫していました。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>各階玄関に意見箱を設置されています。また、ご面会時に日頃の様子を伝えており、要望を聞きとり対応したりしていました。また、日頃から話しやすい関係作りに心がけていました。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>ユニット単位で職員を配置し、馴染みの関係作りに配慮されていました。また、リビングに職員の顔写真の掲示や異動や採用で新任職員が来るときは、不安にならない様、説明や紹介をし、安心への配慮を行っていました。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	事業所内で毎月内部研修が盛んに行われています。外部研修にも参加していました。また、参加出来ない職員に対しても伝達研修をし周知していました。		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	近隣グループホームとの交流を積極的にされていました。他ホームのケアに自らのケアを省み、サービスの質の向上に取り組んでいました。また、近隣のグループホームで連絡会議等のネットワーク作りを計画し、更なるサービス向上に取り組んでいました。今後の展開に期待します。		
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	本人、ご家族の見学や、ホーム側の自宅訪問を行い、利用前から人間関係づくりに配慮しながら取り組まれていました。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	調理や片付け、洗濯干し、家庭菜園など、様々な場面で職員が入居者の方の経験から教えて貰ったり、会話等の日常生活の中で利用者、職員共に、生活を楽しまれていました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>コミュニケーションを大切にし、日常の場面で、やりたい事、行きたい所など、聞き取りを行う事や、個別の基本情報として書面で記録されていました。また、ご家族の面会時に、ご家族からの情報等も聞き取り、自己実現に向けて計画、実施を行っていました。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人やご家族から要望や希望、思いを聞き取り、適時必要な関係者と話し合いをもち、介護計画を立てていました。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>日々の変化や状態が変われば、その都度、話し合いがされ計画の変更を迅速に行っていました。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>同一法人の作業療法士や栄養士等の協力等があり、要望に応じて、歩行練習や、移乗練習等柔軟な対応を行われていました。また、ショートステイでの緊急時の対応についても検討していました。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医による往診があり、24時間連絡が可能な体制となっています。また、往診時の健康状態を記した用紙を、かかりつけ医が発行し、状態把握の共有が図られていました。また、病院への対応も、ご家族の協力を得ながら可能な対応となっていました。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>事前に指針の説明を行い理解を得るようにされ、かかりつけ医と連携を密にっていました。また、認知症ケアを中心に職員やご家族と十分話し合いがもたれ、ホームで対応できる状況であれば対応していました。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない</p>	<p>明るく笑顔の対応に心掛けておられ、接し方についても個人に対する尊敬の気持ちで対応されていました。また、プライバシーについて、研修会等で職員に周知されていました。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりに合わせたペースや能力を職員は把握に努め、個々に合わせたお声かけや支援をされている様子が伺えました。最大限希望に沿った支援をしていました。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	朝食・昼食を職員と利用者で準備・調理が行われていました。また、食事中には、味付けや彩について話をされていたり、日常の会話を楽しむ等食事を楽しんでおられる雰囲気がありました		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	お一人週3回を基本とし、職員の都合で時間を決めるのではなく、ご本人の希望する日時で入浴できる様配慮していました。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	1人ひとりの出来ることを記録やご本人、ご家族からの情報で把握し、得意分野で力が発揮出来るよう支援されていました。また、ご本人の気持ちを大切にしながら取り組んでいました。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に散歩の機会があります。また、近隣に商店街があり買い物に出かけたり、夜間ドライブへ出かけたり利用者の要望に沿った対応をされていました。また、外食の機会も設け、居酒屋等へ行かれる事も計画されていました。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関やべらベランダ、エレベーターはスリーキーで管理されています。立地的に、建物の横は交通量が多い道路となっており、安全の為必要だと感じました。ご家族には番号を公開し、自由に出入りできます。また、利用者出口を探している様子であれば職員が付き添い外出する等の配慮はされていました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回消防署の協力の下、消防訓練が実施されていました。また、災害時に備え食料の備蓄もされていました。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養バランスは、施設内の栄養士がメニューを作成していました。水分量や食事量はチェック表に記入し把握・適切な対応をしていました。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>食堂やリビング、居室の採光も良く、玄関や壁には季節に応じた飾り付けが行われていました。共有空間のソファ等配置は入居者の方と相談しながら模様替え等も行われていました。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅で使い慣れた馴染みの家具やテレビなどを持ち込まれていました。また、ご家族の写真を飾っている方や趣味の道具を持ち込まれている方、長年使っていたミシンを持参されている方もおられ、居心地の良い空間を作る配慮がされていました。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。